

【小学部】

## 生活単元学習(人権)学習指導案

1 単 元 名 「みんなで協力して風船ラリーをしよう」

2 単元設定の理由（省略）

3 ね ら い

- (1) 友達の活動に注目し、「ふわふわことば」や拍手、ハイタッチ等で称賛することができるようにする。  
 (2) 友達と風船ラリーをすることで友達を意識すること、協力することができるようにする。

4 児童の実態（省略）

5 指導計画(全6時間)

- (1) 教員や友達と風船ラリーの練習をしよう . . . . . 2時間  
 (2) 友達と協力して風船ラリーをしよう . . . . . 4時間 本時(3/4)

6 本時の学習

- (1) 本時の目標  
 ① 「ふわふわことば」や拍手、ハイタッチ等で友達を称賛することができる。  
 ② 友達の活動に注目することができる。  
 ③ 教員の支援を受けながら、友達に風船を返すことができる。

(2) 個人の目標（省略）

(3) 普遍的な学習のテーマ . . . 思いやり, 自己肯定感・達成感の向上

(4) 展 開

時間	学習活動	指導上の留意点		評価規準
		T1	T2	
2分	1 始まりの挨拶をする。	・挨拶をしたい児童を募る。 ・みんなに聞こえる声で挨拶をするように促す。	・児童の号令に合わせて姿勢を正せるように言葉かけをする。	・相手のことを尊重した気持ちのよい挨拶をすることができる。 【全員】 (価値的・態度的側面)
6分	2 本時の学習内容を伝える。 ・スケジュールの確認	・スケジュールを提示し、本時の学習の流れを視覚的に伝える。 ・係の仕事を発表する。	・黒板に注目できていない児童に言葉かけや指さしをし、注目を促す。	・教員の話の聞くことができる。 【全員】 (価値的・態度的側面)
25分	3 風船ラリーに取り組む。	・よい例・惜しい例をモデリングし、「どっちが素敵かな」を考えるように促す。 ・ふわふわことばを使うことができている児童を称賛する。 ・司会係の児童Dが円滑に風船ラリーを進めることができるようにセリフカードへの指さし・言葉かけをする。	・モデリングに注目できていない児童に言葉かけや指さしを行い、注目を促す。 ・児童A,Bが風船を返すことができるように身体的支援や指さしを行う。	・友達の活動に注目したり、「ふわふわことば」や拍手等で友達の活動を称賛したりすることができる。 【全員】 (価値的・態度的側面) ・教員の支援を受けながら友達と風船ラリーができる。 【全員】 (技能的側面)
5分	4 振り返り	・児童のよかったところを称賛する。 ・感想を発表したい児童を募る。	・友達の活動の振り返りに対し、拍手をするように促す。	・教員や友達からの称賛を肯定的に受け止めることができる。 【全員】 (価値的・態度的側面)
2分	5 終わりの挨拶をする。	・挨拶をしたい児童を募る。 ・みんなに聞こえる声で挨拶をするように促す。	・児童の号令に合わせて姿勢を正せるように言葉かけをする。	・相手のことを尊重した気持ちのよい挨拶をすることができる。 【全員】 (価値的・態度的側面)